京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ケ月前金卅五錢●三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳▲郵税一ケ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 二月四日
發行兼編輯人 印刷人 山下[illegible]
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番

覆面を脱せる清國

復活せる清國

支那人と新聞紙　此新運動に於て最も著しき現象の一は新聞紙の勃興なり最近數年間に於て清國に發行せられたる新聞紙は數百種に上り其多くは數千枚を發刊し且世界の電報記事を掲載せり北京一市のみにても十二以上の新聞を有し中に支那婦人の編輯に係る婦人新聞一あり此等は外國人に教へられて起りし事業にあらずして支那人自ら之を企て自ら經營せる也勿論時に外國人が政治上の理由よりして經營せむと努めつゝある者少からず此種の方面に特に鋭意せるは日本人にして現在最も過激なる排歐記事を掲ぐる者は多く日本人の手に成る也、されど新聞紙の大部分は純粹なる支那人發行に係れるを見ば如何に清國人が世界の新事實を聞くに熱心になり來りつゝあるかを知るに足らむ、

路畔の新聞讀　總督及巡撫等の多く亦新聞熱に投せられたり清國の郵便局は三個の政府機關新聞の爲めには其代金を集め又無償をを以て配達しやるなり清國の內地到る處に新聞紙は公然城壁上に貼付せられありて公衆の閱覽に供せられ、曾て其居村以外の事には何事にも注意を拂はざりし者も今や絕へず世界に起る新事實に渴し來れるなり人若し北京其他各市の後街を散步せむか到る處に新聞を手にして群集せる公衆に對する者あるを目擊せむ、彼は世界の出來事を眼中丁字なき徒輩に讀聞かせつゝあるなり、

起てよ清國　此等の清國を通じての論旨は一言にして之を言へば『起てよ清國』といふにあり六年前には『起て而して外國人を屠れ』といふにありしが今や『起て而して外國人と同等の位置に立て』といふに在り海城の道臺は自ら新聞紙を發行し之を編輯せり其所論の要に曰く汝は死人なるか汝は心を有せざるか人若し來て刀を汝の喉に擬するも猶能く眠り得るか汝は汝自ら覺醒し改良するにあらざれば西國人は來て我に代り社稷復汝の有にあらざるの日あるを自覺せざるかと、

愛國に訴ふ檄　之と同時に數千萬の雜誌書籍は印刷發行せられ富豪は資を投じて之を摺り普く海內に行はるゝなり臨此所に注意すべきは宣教師以外日本といへる國民が印刷物を利用し其自國の利的を計るに役かたる一事なり、されど是こて九牛の一毛に過ぎずして大部分は支那人自ら發行し居る也、今清國に於て最も弘く行はるゝ文書にして『愛國心に訴ふるの檄』は同國民要求の一班を窺ふに足るものあり其の言ふ處によれば米國は我等の勞働者を拒斥せり南米は之を誘導するも恰も犯罪人なるかの如き待遇を與ふるなり其の此の如くなる要素の幾部は清人自ら負はざるべからず蓋し我が阿片喫煙の惡習及び下らぬ不正行爲が彼等の輕蔑を招くものあるに似たり、されば斷々乎として改革手段を講ずるは今を外にして果して何れの時にあらむや云々

間島の現狀(二)

(三浦理學士談)

地勢

間島は白頭山より東北に向つて海に注ぐ豆滿江と西北吉林地方に放流する松花江の間に介在する三角形の地域なり其地形は白頭山より兩江の分水界なる長白嶺東北に走りて北甑山を起し更に北走して韓人の所謂下畔嶺となり以て松花江、豆滿江の諸支流の分水界を爲せり東西間島は即ち此の長白嶺と下畔嶺に由りて區劃せられ西間島の北境は牡丹江の南に牡丹嶺山脈ありて東西に走り東間島にありては布爾哈通河、戞呀河の兩流と牡丹江との間に牡丹嶺に續ける哈爾巴嶺、老松嶺等ありて北方の境界を爲す西間島の調査に就きては統監府に於て未だ着手せざるを以て之を省き東間島に就きて述べんに豆滿江沿岸に北甑山より東走する凡長哈嶺の山脈あり此等東間島の周圍を繞回せる地帶は多くは六七百米突乃至千米突以上に達する山彙にして其の中央を流るゝ海蘭河、布爾哈通河の流域に一大窪地あり北崗、西崗、南崗と稱する丘陵及び廣濶なる平原を形成す北三崗地方は恰も楊子河上流の四川平地と地勢地質を同ふし沖積層の窪地にして豆滿江は楊子江と同じく峽流をなし峻嶮なる山間を流るゝも三崗地方は其の北に別天地を開きて北韓の會寧より凡長哈嶺を越ゆるものは北韓地方と全く形象を異にせる豐饒の沃野に臨む可く宛然馬頭初見米囊花の感想を起さしむ海蘭河は北甑山の東北より發し凡長哈嶺西北の諸水を集め重疊たる山嶽の間を奔流して頭道溝の平野に出で此地方は頭道溝街を中心とせる一大平地にして所謂西崗なり是より更に丘陵の間を東流して南崗の平野に入る統監府派出所現所在地龍井村は南崗の西部六道溝口海蘭河の右岸に位せり布爾哈通河は哈爾巴嶺の南より起りて東南に流れ西崗の北に出で、廣濶なる北崗の平地を東流して海蘭河に合す支那延吉廳の現所在地局子街は此の合流點の東方約一里あり戞呀河は寧古塔境上の老松嶺より南流して之に合し穩城の西に至り豆滿江の幹流に併せらる以上の三崗地方を概言すれば東西約十里南北六七里の丘陵地にして平地及び緩斜面地より成り東間島の中樞たり尤も戞呀河流域にも亦多數の小平地あるも現に間島の農產地として北韓地方に聞ゆるは此の三崗の丘陵地あるが爲なり

外國貿易旬報

隆熙二年二月下旬　關稅局調査

區分	本旬分	累計(一月以降)
輸出品價額	二九四、八〇三圓	二、三〇六、三〇九圓
輸入品價額	一、六七四、九九九	五、五二三、八二二
合計	一、九六九、八〇二	七、八二九、一三〇

右貿易額の港別左の如し

港名	本旬分 輸出額	輸入額	分計
仁川	一〇三、三三一圓	九八六、九八三圓	一、一〇一、三一四圓
釜山	九二、一三八	五一一、九七六	六〇四、一一四
元山	一九、二九一	五二、五一九	七一、八一〇
鎭南浦	一	四、二一七	四、三一七
京城	二一九	五三、五七二	五三、七九一
群山	四八、四二三	一六、〇四〇	六四、四五三
木浦	一三、七六一	一三、一二五	二六、八八六
馬山	一、六六一	一一、〇六五	一二、七二六
城津	二一〇	五、六六三	五、八七三
新義州	一六、七五〇	七、八六九	二四、六一九
計	二九四、八〇三	一、六七四、九九九	一、九六九、八〇二

輸出重要品表

品名	本旬分	一月以降累計
米	一七九、二一一圓	一、〇〇七、一三一圓
大豆及小豆	四七、八〇九	八〇五、九七五
鮮魚乾魚及鹽魚	五、九八三	五三、〇九九
人參	一	一九六
生牛	一四、一九二	一二七、一八九
食鹽	七一七	三三、四二一
清酒	九、九八四	七八、五七三
打綿	七三一	三四、六二四
生金巾及シーチング	三五、八九三	八二七、五一九
日本木綿	三三、七九五	三三三、九二六
煙草(葉卷を除く)	三五、四二〇	三二〇、七一八
石油	四〇三	三、六七一
マッチ	一六、〇四九	六六、一三一
砂糖及精糖	三、六六四	一四、三一九
石炭	一三、四二一	一三、五一一
綿織糸	三九、一四六	一二九、八二三

次に本月の各港貿易額及輸出入各重要品額を前年各二月分別貿易額對照すれば左の如し

港名	本年二月分 輸出額	輸入額	前年二月分 輸出額	輸入額
仁川	二五二、五七五圓	一、四四二、三四九	一九五、四六〇圓	八〇二、三五四圓
釜山	二九〇、五六八	八四一、四五三	二五六、七五一	六六八、三三五
元山	九一、七三九	二二〇、〇九三	五九、一二二	三二八、一七五
鎭南浦	一〇七	一一、九八八	一	一、九六八
京城	七〇七	一二六、三九三	五一〇	一九、六六五
群山	一二六、四二七	六六、八〇三	八一、〇七五	三九、三一八
木浦	六九、五五三	四八、八六六	一四、二七三	四九、一三三
馬山	一六、三三六	二九、二三六	六六、〇八三	一六九、五四九
城津	一二、七七六	一五、三三四	三、三三八	五、七二七
新義州	四〇、四六六	二五、〇九三	三三、三〇三	四七、三七九
計	六六二、二二〇	二、八八七、九九六	八五〇、八二五	二、一〇一、五〇三

輸出重要品對照表

品名	本年二月分	前年二月分	前年に對し増△減
米	四三九、四八七圓	五三四、四六五圓	△八四、九七八圓
大豆及小豆	二五九、三〇五	一七五、一四八	八四、一五七
鮮魚乾魚及鹽魚	一九、九一〇	一〇、〇五二	九、八五八
人參	二四	一九五	一七一
牛	四〇、五一五	一九、四〇一	二一、一一四

輸入重要品對照表

品名	本年二月分	前年二月分	前年に對し増△減
食鹽	三、三五七圓	一八、三三三圓	△一四、九七六圓
清酒	三三、七九八	六一、三五二	△二八、五五四
打綿	九、四〇四	五、七七九	三、六二五
生金巾及シーチング	二三八、八四四	一三二、九一五	一〇五、九二九
日本木綿	一〇六、八〇九	七一、八一三	三四、九九六
煙草(葉卷を除く)	九九、九三三	六九、四〇三	三〇、五三〇
石油	二、一五三	四五、一七五	△四三、〇二二
マッチ	三九、八三七	一八、一一五	二一、七二二
砂糖及精糖	一四、八六九	一五、三一三	△四四四
石炭	五八、八三六	二三、三八六	三五、四五〇
綿織糸	九六、四〇一	一七〇、一八四	△七三、七八三

ステッセル裁判(三)

ステッセル將軍の辯護士は更に其の託訴者の資格に就てクロパトキン將軍の證明を求めしかば、ク將軍曰く、

『本證人はステッセル將軍を尙小學校時代より知りたり。彼は本證人の眼には常に幾分か粗暴なる、而も武事を好める好個の兵卒と見ゑたり。彼は外貌と云ひ、大聲と云ひ、粗暴なる擧動と云ひ凡ての點に於て兵卒に適したり。土耳其戰爭の際、彼は義勇兵としてロストフスク聯隊より出で、ボルガリヤの軍隊に於て最も壯烈なる行動を爲したり。千九百年の役殊に天津の役は彼れの武名を天下に證明したり。アレクセーエフ大將は彼れを本證人の前に稱讚して『旅順の希望』と言へり。曾て第三狙擊旅團長たりし時のステッセルが拔群の行動は、本證人をしてアレクセーエフが言の虛ならざることを信ぜしめたり』。

『ステッセルは如何にして侍從武官に任ぜられしや』

『皇太子殿下の御誕生あらせられし時、本證人は侍從に適當なる人物を選拔するの命に接したり。其の際本證人は數人を擧げて、年齡の順序に依り第一にビルデルリング將軍、第二ザルバーエフ將軍、第三にステッセルを書き記したり。其の結果ステッセル當選するに至れり』。

『七月十七日(三十日)以後、貴下とステッセル、及び貴下の參謀とステッセルの參謀とは直接交通せしや』。

『然り、ステッセルの報告に對してはステッセルに答へ、スミルノフの報告に對してはスミルノフに答へたり』。

『貴下は援軍に關する請願を附したるステッセルの報告を受取りしや、又如何に之に答へしや』。

之に對しクロパトキン將軍は甚だ低聲に答へて曰く、

『本軍の過失(敗戰)は無論全軍に非常の關係を及ぼしたり。然れども吾人はステッセルの喜ばしげなる報告に對して『尙一度退却したり……』と答ふるに忍びざりき。勿論遼陽戰鬪に於て吾人は五萬の士卒を失ひ、多くの聯隊は勇敢なる行動を現せしと雖も、時の狀況は吾人をして遼陽を退去せしむるの止むを得ざるに至らしめたり。必ずしも日本軍に依りて擊退せられしにあらず』。

クロパトキン將軍は自己の證言すべき範圍外の事に亙りて斯かる曖昧なる陳述を爲せり。繼てドムブロフスキイ將軍は、フォーク將軍に就てクロパトキン將軍の觀る所を問ひしに、ク將軍は答へて曰く、

『本證人は土耳其戰爭の際始めてフォーク將軍を知りたり、彼は常時多瑙河を渡りし後拔群の勳功を現はし其の名全軍に轟きたり。後、彼れは本證人がザカスピイ州を治理せし時本證人の部下と爲り、セラフスに於て第五狙擊大隊を指揮したり。後年滿洲軍總指揮官と爲りしリチウチ將軍は、彼れの事に就て最も高尙なる見解を抱きたり。フォーク將軍が極東に任せらるゝや、本證人も亦此の事を喜んで歡迎したり。然るに既に千九百年となりては、病氣及び老年に依りフォーク將軍も亦當年の意氣なしとの報告本證人に達したり。然れども千九百三年に至り本證人と太守とは彼を尙任に堪へ得べき將軍の數に加へたり』。

韓國及東南滿洲旅行談(續)

陸軍步兵大佐 小澤德平氏談

長白山の頂上に湖水がありまして、それから北に向つてるのと東北に向つて流るゝ娘々庫江と合したのが二道江で、これが絕頂の西の方へ流れ出る頭道江即ち松花江の源流と合して松花江の重なるものをなすのです、別に東に向つて流るゝのが豆滿江に這入る、それから鴨綠江は長白山から南に向つて流るゝのであります、そこで朝鮮の間島問題に付て書いた書類に依りますと、何うしても土門江以東、甑山以南が韓國の國土たること的確で疑ひないやうに思ひます。

最後に極く荒ましでありますが、淸津から會寧の間は道路も急傾斜の處少なく、豆滿江左岸即ち東間島は始ど高原で頗る富饒な所であります、此地方は先刻申しました長白山西北地方よりは餘程多くの朝鮮人が移住して居ります、その開墾地の大部分は朝鮮人の手に依てされて居ります、吉林と淸津との間には近き將來に是非鐵道の連絡がなければならぬ處と堅く信じて居ります、此事に付て一二申上げたいこともありますが、餘り長くなりますからこれで止めて置きます、誠に蕪雜な飛び〳〵のお話を致しまして恐縮に堪へませぬ、宜しく御諒恕を願ひます。(完了)

小說

紘のみだれ(八十九)

永井櫻圃

兩個は言替したやうに、松を眺めた、そして山田は沈むだ顏に、微笑を漏らし、

『面白い話を聞いたから聞かしてやるッて、何を那樣面白い話を聞いて來た…』

松は兩個の顏を當分に見比べながら枕際に行儀正しく坐り、

『赤鬼だの青鬼だのッて、何の事だ、地獄の話でも聞いて來たのか。』

『あら、地獄の話なんかぢやございません、

私が鬼と云ひますのは、四國館の夫婦の事なんでございますよ。』

『なある程、四國館の事か、突如に青鬼だの赤鬼だのッて云ふから、更り理由が分らなかつた、はゝゝ、四國館が奈何か爲たと云ふのか。』

と、漸く會得して微笑めば、淸之助も思はず嬌笑する。

『奈何かした所ぢやアないんでございますよ、今表で平井さんと云ふ四國館に下宿して居た書生さんに會ひましたらね、四國館が潰れて了つたと仰やるんです、ですから如何して潰れましたかッて問ねますとね、かうなんでございますよ、慶應大學に通つてなさる、鈴木さんと云ふ方が……へゑ、へゑ、貴方の隣室に居なすつた、彼の江州彥根の方です、彼の方が、貴方の病中に宿の夫婦が酷い取扱を爲た事を知つてなすつて、貴方なり私なりが引拂つて出ました翌々日の事だッたさうです、鈴木さんが下宿してる書生さん達を呼集めて、鬼共夫婦が酷い取扱爲た事を殘らず話なすつて、互に他國から修學に來てる身の上だから、何時病氣に罹らないとも云へないが、萬一病氣にでもなつた場合には此座宿に下宿して居やうものなら、全快する病氣でも殺されて了ふかも知れない、其の例は斯樣々々さ、貴方の御病中の事を殘らず話しなすつて、一同下宿を替はらうと誘ひなすつたさうです、すると二十幾人の方が皆な贊成なすつて、其翌々日一人も殘らず轉宿つて了ひなすつたさうです、宜い氣地ぢやアございませんか、私嬉しくて堪らないんですよ。』

山田は、有繁に破顏して、

『ふむ、然うか、そりやア痛快な事を遣つたね、同盟轉宿を遣られちやア、如何に剛慾な夫婦も閉口爲たらう。』

『閉口爲た所ぢやありません、それから何だそうです、下宿人が殘らず轉宿つて了つたもんですから、其晩夫婦喧嘩が始まつてお內儀さんを散々打擲して傷を附けたとかで、お內儀さんが交番に駈けて往く、旦那が警察へ引かれる到頭彼の家を引拂つて何處かへ往つて了つたさうです、私それを聞きまして、眞箇胸の塊が下つた氣が致します。』

『ふむ、到頭潰れて了つたんだね、して見ると人間と云ふものは、決して道に外れた事は出來ないね。』

と、嗟嘆する、淸之助も感じ入つたやう、

『眞箇惡い事は出來ませんのね、惡い事して其まゝ居られるなら、誰でも爲ますからね、しかし、あゝ云ふ人は、然う云ふ目に遭つた方が宜いのです、遣はないと矢張性懲もせず、宜い氣になつて惡い事爲ますからね、酷い目に遭つた方が宜うございます。』

漢城便り

▲漢城も春風駘蕩の好時節と相成り自ら氣も心も浮々致し候、唯困るのは此頃の雨天にて道路は恰も泥溝の如く、泥濘膝を沒すとは此事に候、道路の改築は最も急務と存じ候、民團の財力之を許さずとも、何とか起債の方法も可有之と存じ候、斯事は偏に當局者の御盡力を要請致度く候

▲昨今の漢城は總て沈衰して活氣無之見物人も飽き果て申候、伊藤統監は病氣の爲に歸任の期日も定らず、梅子夫人に宋秉畯が隨伴し來るとの噂も立消となり、統監府に於ては暴徒鎭撫の方法に腐心せらるゝと聞及び候得共未だ其御名案を拜聽不致候、統監府は多士濟々必ずや我等の知らざる良策を講せらるべく候得共、餘りに幕合の長くては困入候、夫れに就き獻策致したきことは

▲曾禰副統監の地方巡視に候、百聞は一見に若かずと申候得ば、是非御出馬然るべくと存候、曾禰副統監には伊藤統監不在中にや、雖區々たる條令發布に署名さるゝよりも、快擧一番鐵道沿線以外に御出馬致されなば何か一ッ目覺しき事をなされては如何に候暴徒の實狀を探究せらるゝは、此際最も適宜の事と存し候

▲傳承する所に依れば、曾禰副統監は伊藤統監よりも韓人に對する態度が丁寧にして所謂韓國本位を思ひ切て發輝するに勉ると は事實にや、それかわらぬか好で韓服まで召れ、一擧一動ヨボ本位なるよし、斯の如くなれば未蟄どもに奇妙なる影響を及ぼし來り候由、此事は甚だ小問題の如くなれど實は大なる問題にして、決して輕々に看過すべきものに無之候、曾禰副統監には胸中大に考る處ありての御行爲なるべきも、そは韓人を精知せざるの致す處、懷柔政策の爲人に對して無益なるは今更說く迄もなしこの見易き事を何の必要ありて之を繰返し失敗の蹟を踏まんとは實に殘念に候

▲暴徒の爲に逃げ歸れる人々に地方の狀態を聞けば酸鼻に堪へられぬこと多し、良人も子供も殺され自分一人山に臥し野に眠り辛じて逃げ歸る、其他一々記する能はざるも地方に於て暴徒の爲に襲れたる慘狀を聞きては暴徒の鎭定は一日も忽にはは致し難く候、兎に角副統監の出馬は緊急の事に候、其實情を目擊するに於ては、鎭定の方法も忽ち決すべくと存じ候、現時の儘にして放擲致し置候ては百年河清を俟つと一般に候我等は副統監に向て之を懇請致し度く候、萬障御繰合せ御出馬の程希望仕候

▲經濟界の沈衰も今や極度に逹し、商業振はず、何とか好き救濟の方法は無之候や、反動の勢ひ玆に至り候ものなれども、放任し置ては尙更に此沈勢を助長せしめ、後には由々敷恐慌を惹起すべく候、是亦た當局者の一考を要請致し度く候

東京電報

▲**豫算案日程に上る** 來年度總豫算案其他附帶の諸案は五日の貴族院議事日程に上る(四日發)

▲**駐韓軍士卒の除隊** 服役延期中の駐韓師團士卒は內地へ歸還すると共に除隊する旨本日布達せられたり(以上四日午後發)

▲**逃亡兵發見** 一昨夜逃亡せる第一師團步兵第一聯隊步兵三十二名は昨夜搜索隊の爲めに發見されたり一先づ歸隊せり(五日發)

▲**豫算案可決** 貴族院に於て總豫算案其他附帶諸案は大多數を以て可決したり(五日發)

各地電報

▲**錦山附近の交戰** 昨日午後二時五分天安憲兵分隊長より憲兵本部に着したる來電に依れば去る一日夕錦山南方約三里のコットウりに於て憲兵下士以下四名暴徒約三十名と交戰其の結果賊の三名を殪し一名を負傷せしめしが我に損害なし鹵獲品は銃三其の他雜品若干なり(天安四日發)

雜報

韓國の新財源に就て

韓國施政の改善に伴ひ政費の膨脹を來すは免る可らざる事にして現に本年度の如きも日本政府より五百萬圓の立替を受くる次第にて今後幾多の新施設を加ふるに隨ひ益々政費の增加を來す可く何時迄も日本政府の補助を仰ぐが如きは不可能の事なれば韓國政府に於ても其の歲入の增加を圖るため臨時財源調査局なるものを設け諸種の財源に就きて調査しつゝあるが今其當局者の語る處に據れば現今の稅制は極めて不完全なるも之を改正すると共に徵稅方法を改善するのみにても國庫の收入は非常に增加すべく現に昨年度の如き暴徒の害ありしに拘らず優に豫算以上の收入を得し好結果を見たる程なれば今全國の土地を整理し其の測量を完全にせば土地の稅金は新稅を課せずとも增加し來すべきは想像に難からず若し夫れ消費稅としては鹽の如き酒の如き烟草の如き共に好個の財源なるも韓國に於ては酒は殆んど全國各地に於て自家飮用的に釀造しつゝあり其の製造方法も極めて幼稚にして到底造石稅を課するの途なく烟草も亦全國に耕作せらるゝも之れ亦耕作方法不完全にして今直ちに政府の專賣或は煙草專賣等を經營し得べき時期に非ず此の兩者は其の生産事業の發逹を見る迄は免許稅の如きを課して人民をして消費稅の賦課に慣れしむるは格別今直ちに適當なる財源と云ふを得ず而して鹽に至れば現今百斤に對し六錢の課稅をなしつゝあるも其の生産額の調査行屆かず脫稅するもの多額なる模樣なれども政府が經營したる天日製鹽は其の成績極めて良好にして韓國全体に需要する食鹽を天日食鹽を以て供給する事とせば現今の市價にても一年三百萬圓の國庫收入を得可く若し日本に於ける專賣と同一價格となれば優に六百萬圓の收入を得而かも其の設備は酒烟草の課稅に比して簡單なれば新財源として天日食鹽官營を以て最も適當なるものと信ず故に當局者は此の方針を以て諸種の調査に從事しつゝあり既報廣梁灣の調査もこれがためなりといふ

●**隱驛屯土發見の獎勵** 從來隱結の發見者に對しては調査の上其の確實と認めらるゝ者には賞與金を下附せらるゝ事となり居れるが今回隱驛屯土の發見者に對しても賞與金を下附して之を獎勵する事となりたれば發見者は之を財務監督局又は財務署に申告せば一斗落に付金二十錢の範圍を以て施賞せらるべし

內部文書取扱規程

內部は今回文書取扱規程なるものを制定せり其の全文左の如し

第一條 文書課には收受件名簿及び發議件名簿を備ふべし、收受件名簿には本部に到逹したる文書及之に關し本部より發送し又は本部に到逹する文書を記載し發議件名簿には本部の發議に係り發送したる文書及び之に關し本部に到逹し又は本部より發送する文書を記載す

第二條 本部に到逹する文書は親展書を除くの外文書課に於て之を開封し收受件名簿に其の文書の番號件名差出人收受の年月日並に番號を記入し之と同時に收受の年月日及び第號を其の文書に記入して主務局課に配付すべし但し現金券又は有價證券其他貴重物品を添付したるものある時は其の金品を會計課に送付し其の旨を本書に附記すべし、但し收受件名簿又は發議件名簿に記入したる事件に關する文書を收受したる時は收受件名簿又は發議件名簿中其の事件欄に收受年月日其の他要件を記入して前項の取扱をなすべし、電報收受簿及び金品送付簿は別に之を備ふべし

第三條 親展の文書は封緘の儘之を名宛人に配付すべし親展文書收受簿は別に是を備ふべし

第四條 前條に依り配付せられたる文書にして事の機密に屬するものは秘書課に交付し普通文書として處理すべきものは文書課に返付すべし、前項の文書は第一條及び第二條の例に依り文書取扱ふべし

第五條 他局課の主管に屬すべき文書を配付せられたるときは前條第一項の例に依る

第六條 主務局課に於て文書の配付を受けたる時は回議書を作り決裁を經るの手續をなすべし事の異例に屬し又は重要の事件と認むる時は豫め上官の閱覽に供し指揮を受くべし

第七條 回議書には件名年月日發受者名及處分案を記載し必要あるときは其理由を附記すべし、事の輕易なるものは回議用紙を用ひず本書の餘白に處分の要旨を記載する事を得、同議書には關係文書を添付すべし

第八條 事の他局課に關聯する文書は之を其の局課に合議し又は回覽に供すべし

第九條 文書は主務課長に於て其重要なると否とにより大臣次官又は局長の決裁又は閱覽を受くべきものは區別し欄外に「甲」「乙」又は「丙」の記號を附すべし

第十條 急を要する文書は其の上端に赤紙を貼付し機密を要するものは「秘」の記號を付すべし

第十一條 機密を要する文書は主務局課長又は主任書に於て之を携帶し又は封筒に入れ決裁を受け又は閱覽に供すべし

第十二條 親展又は書留郵便等特別の取扱を要するもの又は官報に揭載を要すべき者は其の旨を回議書に附記すべし(未完)

●**宋秉畯の歸韓期** 韓太子日本留學の陪從官として昨年十二月日本に渡航し今尙は東京に滯在中なる農商工部大臣宋秉畯氏は伊藤統監と同行歸韓の筈なりしも同統監病氣の爲め其歸任期明かならざれば統監に先ち來る四月初め歸韓することゝせりと

●**松井局長の消息** 地方視察中の松井警務局長より一昨日內部へ宛て左の電報あり今朝島致院を發し太田警察分署に立寄り今大邱に着す、明日明後日は例の如く視察を遂げ釜山馬山浦の警察署長をも會同せしむ、明後夕は當地方の重なる韓人に面談し七日歸京の豫定なり

暴徒討伐情報(軍司令部着)

△朔寧守備隊報告 斥候の一隊は二月二十八日倉谷(鐵原の西北約四里)に於て本朝賊約三十北方高地を越へ北進せるを諜知し之を追跡せり當時風雨甚しく泥濘にして行進意の如くならざりしが漸く倉谷北方高地頂に上るや賊約三十は將に金間洞に入らんとする所なりし直に山を下り射擊を開始せり賊は雨天の爲め發火する能はず(火繩銃)北方に逃走を始む斥候は之を急追せり然るに道路泥濘彼等共に困難して轉倒しつゝ逃るを追ふて射殺十負傷若干銃七鹵獲す

△筏井小隊報告 二月廿六日小隊は午前九時三十分加平郡雲井洞西南約千米突の山腹に朴來鳳の率ゆる暴徒約百五十名を發見し直に討伐隊は交戰約三十分賊の動作巧にして退却せず依て一部を迂回せしめたるに暫時にして其一部は元興里方向に退却せしも殘賊は頑強に抵抗せり依て小隊は主力を以て突擊せしも接戰格鬪遂に懸燈山方面に退却せり死体廿三負傷十八九我兵打撲傷一、銃三火藥若干の鹵獲あり尙引續き小隊は急進して廿七日午前二時同郡榮谷に宿泊せる九十名の賊を夜襲し其十八を殪す死者中歸順の證を携帶せる者あり

各地方の暴徒討伐

△二月廿日偵察の結果暴徒約百名長城郡西二面塔丁に集合せるを知れる德永騎兵大尉以下十五名宮本特務曹長以下十名及び巡査(韓巡)二名は翌廿一日午前四時目的地に達し三方より包圍拂曉を俟ち午前六時に至るも村內何等異狀なきものゝ如かりしも試みに警笛を鳴らせしに忽ち數十名の賊徒村內より出て狙擊を開始せしを以て三面より一時に急射擊を加へ交戰二時間の後村內に突入奮戰し騎兵隊は迂回して敵の退路を扼して奮鬪し遂に敵を全滅に歸せり敵の損害は左の如し

死者七十二名、負傷不明、鹵獲品砲一、二八携帶銃三、火繩銃二十八、雜品數十點鹵獲書類中の名簿に依れば左の役名を設け居りたるものゝ如し

盟主奇三衍(曩に斬殺せらる)以下都統領、敎練監、都監督、禁亂參謀、護軍監、護軍參謀、左翼將、右翼將、都執事、左執事、右執事、將所書記、禁亂左右執事

△泰安郡安眠島承彥里に賊徒來襲の報あり瑞山郡駐在巡查五名は二月廿二日午前二時夜暗に乘して同島に渡航し該部落を包圍逮捕せんとせしに彼等は發砲して抵抗せしを以て交戰少時其の四名を殪し殘餘は潰亂山中に逃竄せり引續き島民と共に搜索せしも遂に得る處なく彼等は船に乘して他島に逃去せしものゝ如し

△咸平郡章本面に賊團來襲の報あり二月廿三日憲兵特務曹長以下十二名川崎警部以下巡査六名は羅州出發行進中偵察の結果彼等は倉知面月峴に宿泊中なるを知り廿四日午前十一時目的地に達するや賊は早くも該部前方の高地に散開し我に向て射擊す其の數約五十名我は直ちに應戰し交戰約一時間の後潰亂逃走す追擊二里遂に其の蹤跡を失せり敵の死者二名雜品數點を鹵獲せり

楊州郡の交戰

暴徒百餘名議政府を襲ひし事は豫て記せし通りなるが其の後去る二日午前八時賊情偵察の爲め楊州郡內洞面方向に出張したる山田憲兵上等兵以下三名は同日正午頃同面內巨墨洞附近に於て賊百名余と衝突せしが賊は却々優勢にて頑強なる抵抗を試みしが我は屈せず應戰し終に榛代方面に擊退せり其の際賊の死者五、負傷十我に損害なし

各道の自衛團

▲忠淸北道永洞分署 管內自衛團組織の屆出ありしも僅かに壯丁名簿を作製しあるに過ぎず更に編成をなさしむることとせり

▲忠淸南道鎭山分署 郡守の勸誘に對して組織人民は身に寸鐵を帶びず危險なりとて組織を肯せず

▲全羅北道全州警察署 自衛團組織に對し一進會員か率先するを以て人は皆一進會と異名同体なりと誤信し一進會に對する惡感を自衛團に移す傾あり金溝郡守の勸誘により自衛團組織を爲すこととなり團長以下の役員を名望者を選定したるも何れも辭退せるを以て面長を團長として漸く組織を完了し要所々々に見張小屋を設け警戒に從事中なり然るに經費の支出に依りて反對を唱ふる者あり又一進會員は損に團員に指揮命令を爲さんとするにより團員の間に疑惑を來さんとするの恐あり

▲鎭安郡 は一進會員十二名の暴徒偵察に任ずる爲め事務所を設け食糧を各面住民に負擔せしむる爲め頗る人民の反感を來して自衛團の組織に影響を及したり

▲群山警察署 任溝府々民自衛團組織を完了せり當時一進會員は獨立之を組織すると稱して寄附金を募集して支會長擅に之を費消して住民の惡感を招きたることあるを以て今回の組織に當りては同會員には關與せしめず

▲全羅南道光州分署 管內四面に自衛團組織を完了せず其組織の當時觀察使郡守が模範を示したるを以て容易に組織するを得たり一進會員は其組織に關興せんとせしも同會員の加入は一般人民に反感を與ふるを以て拒絕せり

▲羅州分署 羅州邑外二面に自衛團を組織したるも役員等は事故に托して辭退して組織の効果を見る能はず

▲順天分署 各郡自衛團組織準備中なるも遲々として進まず

▲慶尙南道鳥山警察署 自衛團擁護會員の勸誘により組織を完了したる擧動あり然れども自衛團は日本人保護の爲め或は軍隊に使役徵發せらるゝものなりなど唱ふるものありたるも郡守巡查の說明によりて多少誤解を解きたるものゝ如きも實際の活動は期すべからず(未完)

●**青年會演說會** 三日午後七時開會したる韓國基督教青年會は聽衆二百餘名にして同八時四十分閉會したり其際尹致午は我韓の前途と題し大要左の如き演說を爲したり東洋の歷史に就き之を言へば越王勾踐は國家振はず千辛萬苦して臥薪嘗膽に會稽の恥を雪ぎ其國を獨立の位置に置き國民に幸福を與へたり又露國に就き之を言へば彼得大帝は國家の微弱を憂へ先進國に往き諸般制度文物を學得し歸り萬事是に模倣し今日の強大を致せり故に一般青年は學業に勉勵し子弟姊妹等に新學問を注入し國家の基礎を作り從來完全なる學校既に三百數十ケ所學生四萬四百餘名に逹す韓國前古未曾有の事と云ふべし故に此際私塾を打破すると共に舊を去り新を迎へ悉皆小學校又は普通學校に入學せしめ二千萬同胞に新智識思想を與へ文明列強と同等の條約を結び伍伴に列せんことに努むべし云々

●**陸軍紀念祭來賓心得** 同紀念祭は十日に擧行せらるゝ事は既報の如くなるが今其來賓心得を聞くに左の如し

一、衛兵受付に於て來賓紀念繪葉書並に紀章及次第書は招待狀と引替の事
一、軍司令部構內に於て紀念郵便取扱スタンプ押捺
一、京城小學校生徒の觀覽を許す但し主任者引率の事
一、大谷川橋梁は男子に限り通行を許さず婦人のみを通行せしむ
一、車夫及籠カキは門前より入るを許さず
一、餘興は火花百發角力銃劍術之居ニハカ藝者手踊

●**昨夜の委員會** 民團豫算委員會は一昨日午後五時より各委員及び熊谷民長仁科助役等出席開會し豫算の查定をなし同十一時散會したり昨日は都合に依り休會したりと云ふ

●**痘苗の頒布** 從來大韓病院にては一般需用者の求めに應じて痘苗を頒布し來りしも時に或は不足を來し欠乏を告ぐるに依り已むなく之を謝絕するの場合もありしが今回之が痘苗の製造を增加し普ねく一般の需用を充すべしといふ

●**理事官稅關長歸任** 宮木稅關長及信夫理事官の兩氏は海州附近視察の爲去月二十六日より約一週間の豫定にて仁川を出發したるが二十九日に海州を發し長山津に向ふ途中天候不穩となりたる爲某港に寄港し居たる爲非常に遲延したるが一昨夜仁川港に無事着したり

●**本田博士の囑托** 統監府技師農學博士本田幸介氏は去る一月六日附を以て農商務省より農事試驗場に於て韓國に於ける農作物と氣候との關係調査を囑托せられたり

●**內部警視の敍任** 內部警視正七位鈴木重民同高橋淺水の兩氏は二月廿九日附を以て共に從六位に敍せらる

●**故金山書記官弔慰金醵集** 元統監府書記官金山尙記氏の周年忌日に相當するを以て生前親交ある林田龜太郞、太田峰三郞、金子堅太郞、鶴原定吉、中原貞三郞、兒玉秀雄の諸氏發起人となり弔慰金を有志者に醵集して氏の生前の功を金石に勒し靈を慰めらるゝ由にて醵金は京城に於ては統監府會計課內にて取扱ふ由なり

●**李載崐氏の落車** 學部大臣李載崐氏は一昨日午前十一時學部に出仕せんとて人力車に乘し自邸の門を出るや否動搖の爲め路上に轉落し面部に擦過傷を負ひたりと

近事片々

▲拓殖 會社設立大分好人氣之れ半島經營の急先鋒唯獨占事業となすや否が緊切問題
▲拓植 會社に保護を與るも其施設總ての活動に於て自由手腕を揮はしめ拘束す可
▲當事 者に有爲の人材を用ひ官憲は干涉せず思切つて放任せば却て事蹟顯著せむ乎
▲反是 日本政府通有の下らぬ干涉をして拘束すれば其結果は蛇蜂とらずに失敗せむ
▲滿鐵 の如く獨占的は不可也亦た其役員に官吏を採る亦不可當局深く考慮を要す也
▲金允植兪吉濬等政社を組織せんとして奔動すと聞く一進會に對立する政社面白し
▲小黨 幾個にも分立するも勢力なし大韓協會や大同會の如き打て一丸とするも妙也
▲眞個 政黨に實力あらしめんには烏合の衆はだめ實力ある集團を組成すべし是肝要
▲韓國 人の集團は何れも烏合の衆多し而も言論耳盛にして實蹟擧らず大に警戒せよ
▲宮內 府は動物園博物館を設けらるゝと如何に珍動物集るべき先づ第一にヒヽ殿乎
▲太皇 帝陛下無聊に苦めらるゝと長谷川大將に喞つ永らく萬機を嘗せ玉し御身嘸々
▲近隱 以來閑散の御身殊に掌中の玉と愛せらる英親王膝下に侍す嘸や御辛氣千萬
▲閑散 の御身とは云へ伺候者常に多く世をして疑を起さしむ不善の行なくば幸也
▲間島 問題に日本は淸の歡心を得ん爲に始めの勢に似ず軟化せりと傳ふ何たる腰拔乎
▲米國 艦体は日本を訪問せずとの說傳るエバンス提督病むとの說もあり何が何だか
▲近來 米國人の神經妙に昂る殊に日本に對しては弱犬の吼る如き態度也餘に見苦し
▲愛媛 の人二千萬圓の巨資にて豆腐會社を米國に設立せんと云ふ隨分突飛の計畫也

●**韓官任免** (四日)左の通り任免有たり

任掌禮院禮式官敍奏任官三等 正三品 崔鍵榮
任掌禮院禮式官敍奏任官四等 [illegible]
平山郡守 南宮檍
全義郡守 金東完
依願免本官
蔚珍郡守 李啓密
高城郡守 金燐朱
魯城郡守 李宗啓
免本官

●[illegible]計四十五人(內婦[illegible])李載冕、永宣君李竣鎔、承候官尹德榮、同尹弘燮、同尹正發、侍從院卿閔丙奭、同副卿李會九、主殿院卿李謙濟、警視副監具然壽、典膳司長金玉鉉、禮式官高羲誠、陪從武官張然昌、典醫李海昌、承寧府侍從吳一泳、[illegible]計八十七人(內婦人四十一人)重なる者は承候官李載冕、李俊鎔、承寧府掌膳金相昱、同典醫洪哲普、侍從院侍從李聖、同嚴柱東等なり

●韓官任免　昨日左の通り任免有たり
任掌禮院禮式官叙奏任官三等　正三品　崔鍵榮
任掌禮院禮式官叙奏任官四等　平山郡守　南宮檍　金堤郡守　金東完
依願免本官　蔚珍郡守　李啓宏　高城郡守　金煥朱　豐城郡守　李宗啓
免本官

●四日參內者　慶運宮計四十五人(內婦人[illegible])[illegible]李載冕、永宣君李埈鎔、承候官尹德榮、同尹澤榮、同尹弘燮、同尹正發、侍從院卿閔丙奭、同副卿李台九、主殿院卿李議[illegible]、警視副監具然壽、典膳司長金玉鉉、禮式官高羲誠、陪從武官張然昌、典醫李海昌、承寧府侍從吳一泳、同洪運杓、同[illegible]金相昆、[illegible]八十七人(內婦人四十一人)重なる者は承候官李載覺、李俊鎔、承寧府掌膳金相昆、同典醫洪哲普、侍從院侍從李聖、同[illegible]等

小兒特有の病氣

瀨川醫學博士實驗談
病兒不健康兒保育法

▲小兒の病狀は大人と違ふ、親々の常に心配なさる小兒の病氣には種々の名があつて狀態も各異つて居ます、昔は四百四病と云ひましたけれど世の文明と醫學の進步に從つて今ではナカ〳〵四百四病位のものでありますまいし病氣の種類は益々增殖ますとも減少するやうな事は先づ無いと云つて宜いのです扨小兒の病氣には一種特有の性質を備へて居て大人の病氣をもつて小兒に當嵌める事は到底出來ません一体大人と小兒との病氣は狀態が違ふのですが斯う申すと或は不思議に感ずる方もありませうけれど決して爾うでない肝臟と云ひ心臟と云ひ腦髓と云つたら大人も小兒も同じものと思ふが夫れが同じでないから大人と小兒とは結局病氣の狀態も違つて來るのです畢竟小兒の身体と大人の身体とは全く構造を異にするので例へば胃に就いて少しくお噺しすると胃は元來上下に口のある中程の膨らんで居る囊狀体で上腹部の中央より稍斜に右方に向つて橫つて居ます然るに小兒の胃は全く形狀を異にし中部の膨らみは殆んど缺げて居るばかりでなく其の位置も殆んど直立して居るから食物を蓄ふる場所も狹く又容易に食物を吐出します小兒が飮んだ乳汁を苦もなく吐くも詰り此理由から來るのです其の他細き組織上の構造に至ると腦でも腦でも種々の相違がある構造に相違があるから其の生理上の働きも夫れ〳〵違つて來ますし生理學上の働きが違ふ位であるから其の機關に異狀を生じたとき即ち病氣に罹つたときに自然大人と相違のある譯です夫れ故同一の疾病でも大人と小兒とは徵候も違へば經過も違ひ從つて取扱方や治療法も違ふことがお分りになりませう

▲小兒特有の療法　小兒と大人とは同一の疾病でも性質が違ふから從つて治療法も同一に行かぬと申しましたが藥劑の如きも分量さへ小兒の年齡に適行するやうにすれば何の藥を用ゐても差支なきやうに考へられますけれど之れも爾うは參りません小兒の身体は大人の身体を單に小さくしたのではなく今申す通り各部機關の構造組織が違うから爾うは參らん譯です夫れ故藥によつては大人と比較して非常な小量でも强く效くのもありますし又夫れと反對で大人に較べ易き割合に夫れ程效しないのもあります其間には大人に與へる藥を小兒だから半分飮ましたとか三分一飮ましたとかいふのをよく聞きますが之れは危險千萬なことで斯ういふ事は醫師の許しを得ずに決してはなりません

詐僞事務所の設置

韓國といへば木の枝にも黃金の塊りがぶら下つて居るやうに思ふて來て見ると何がさて水一荷買ふにも五錢出さねばならず其の五錢なければ水も飮めぬといふ有樣なるより小人窮すれば亂すの諺の如く宜からぬことのみ考へ出して我同胞の懷中を絞らんとする浮浪の徒はこの京城のみにても五百人や六百人は居るならんが是れも其の一部に漏れぬ曾根田梅吉、近藤音次郎、本田勉造、島川留吉、關根義輔、小林謙明、錦織金藏、內山佐一の八名は本町六丁目に藝娼妓紹介料理人取締事務所なる名さへ怪しき事務所を設立し曾根田梅吉が取締、近藤音次郎が副取締、本田勉藏が幹事、島川留吉が後見といふ觸れ出しに此京城の各料理人より每月壹圓宛を徵收し內五十錢を積立金とし殘五十錢を事務所費と爲すべしとは表面のことにて其の積立金を如何に保管すべきかは甚だ疑はしきものなるが彼等は去月十六日付を以て麗々しくも同所の趣意書なるものを發行し不日盛んなる開業式を擧行せんとて其の趣意書に盃及び手拭を添へて配布したるより既に一圓を納附せし者もあることなるが彼等は眞に公然の爲めに同所を設立せしにあらず實は詐欺の目的を以て設立せしものなりと其の筋の睨む所となつて一昨日彼等八名は南部警察署に引致せられ引續き留置されて取調を受けつゝありと云ふ尙ほ本件に關しては詳しく聞き居れるも今は豫審中に屬するを以て其の決定を俟つて更らに報ずる所あるべし

道路の修繕は出來まいか

本町通の道路は由來惡路を以て鳴る之を以て民團役所は鋭意之が改良を圖るも何時も姑息の修繕に過ぎざれば降雨每に破壞するに至り只だ經費を投ずるに過ぎざるは甚だ迷惑の極なり今回の降雨の如きに當りても本町一丁目民團役所前より三丁目に至る間は如何、道路と云はんよりは泥田といふ方勝れるにあらずや此狹き惡路の中を馬牛馬車人力車疾驅し危險千萬なるのみならず其飛沫の爲め各人の衣服を汚し婦人の如きは大切なる衣類を汚して殆んど泣かんばかりの体にて立往生するものあり又怪我人を出さぬこそ寧に幸福といふべきのみ斯る惡路は本町通りのみならず南大門通りより銀行に至る間も同樣にてこれは第一銀行新築敷地の土塊を道路に放棄したる爲めにてこれ最も道路修繕の意味なりしならんも却て惡路を築きしものにて粘土は降雨に依りて粘着力を增し間々下駄を取られて此の寒冷の節に跣足となりこれが原因となりて凍傷を惹起するものもあり少からず損害を來すに至る此狀態を見て當局者は決して默視すべきにあらざるべしと信ず京城民團及び漢城府は姑息の方法を取らず根本的に道路の改修を施して貰ひたいとは在京二十萬人の希望する處なるべし

●檢事の私曲　客年七月以降楊口郡主事任貞爀なる者が暴徒に加擔し內亂を幫助したる廉を以て刑事訴訟を受けたる事は既記せしが任は暴徒の脅迫を受け止むを得ず加擔したる旨を申述するも七月より十一月に至る間屢々金穀物件を徵發して暴徒に與へ陰に陽に之を幫助したる證跡歷々たるにも拘らず青川裁判所檢事は任の行爲を以て不可抗力に出でたる行爲にして其の罪を論ずべきものに非ずとし放免したりと云ふ

●强盜死刑　李元仁(三十)なる者は强盜犯に依り昨年十一月七日死刑の宣告を受け爾來當所水原警察署監獄に收容中本年二月二十八日附法部大臣の命に依り三月二日午前十時李檢事及增田警視立會の上死刑(絞殺)執行し死体は監獄に於て埋葬したり

●强盜團の檢擧　既報京城に根據を有する强盜團体中內社に關する檢擧は去る二十八日に着手し同日各所に於て內社首領松鶴を始め一黨廿餘名逮捕尙進んで外社團体の所在搜索せしに南大門外巡洞居金百運方へ首領以下潛伏し居ることを探知し巡查數名を二日正午十二時同家に出張せしめたるに果して外社別有士(首領)金德心副有士(次長)朴宗發及び尹麗悟の三名潛伏し居り逮捕巡查に對し『ピストル』を差向け抵抗せしも屆せず逮捕せり

奇怪錄

京城道路は泥田　民長君雨天の際に於ける京城の道路を步いて見ましたか、隨分酷いでしよう、あれが君が所謂修繕した道だといふに至つては御自身ながら愛憎が盡きはしませんか

●電氣より發火　一昨日午前一時頃仁川仲町金融組合家屋內の電線より漏電し屋根に燃え移りし所を急報に接して駆け付けた電氣工夫が電線を接斷して無事消止めたり物騷〳〵

●知らぬが佛の三平　知らぬ顏の半兵衛ならでこれは井門樓の三平拍子が戀に焦れし殿には他に增す花のありとも知らで陰膳ならぬ据膳を持ち掛けて朋輩衆へ胡座となりし珍譚にて其の殿といへるは本町四丁目の婦人衆の出入繁き去る大店の番頭香村商藏とかいへる優男なるが此の香村は番頭の鑰を預つて居るほどに五十や百の金は何時も自由になるを以て時折りは茶屋遊びもなし其の遊び方も主人の眼を忍ぶ身なれば物靜かに淡泊として居る處へ井門樓の三平がぞつこん惚れ込んで此の人の爲めには假令火の中水の底へでも飛び込んで逢瀨に化けて出ても厭はぬさの大熱心を香村は當初のほどは有がたく思ふて互に水も漏さぬ仲なりしが香村は浮氣男の常として三平の知らぬ間に彼の枝此の枝にも手をかけて京城の色男は共方でございと早の先きに指輪をかけぬばかりに言ひ觸らし居れるを何時かた手のかゝりし花子といへるが聞き咎め貴方は私に何と言ひなされたかよもや忘れは遊ばすまい夫れが眞實のことなれば僅か二百ばかりの借金これを拂ふて與樣にして貰ひませう夫れが出來ぬとなれば私にも蛇足思案がある程によつたら店先に乘り込んで主人を相手取つて談判も仕兼ねまじき權幕に恐れ入り且つ三平に比ぶれば年も若く縹緻もよき花子のことゝて此の妓ならば船板塀の圍ひに入れてもあの女がと人に指さゝれることもあるまいと早速にのこと故何事も密にして今は某所に手活の身受の相談をなし自分が親方がゝりの番頭花と眺め居れるを三平は夫れとも知らず二三日前に香村が友人二三人と共に井門樓に來り四五の藝妓や雛妓を席に侍らして騷ぎ廻れる最中に香村を別室に呼び込み何故この頃はお顏を見せて下さいませぬと恨み言の百萬遍を唱へて成佛の處を藝妓や仲居どもが障子の外より覗き見て知らぬが佛の三平と眼ひき袖ひき嘲嗤ふを折惡くも兎耳子が聞いて書の如し

●飲遊仕損じの一幕　此の世智辛い世の中に人に酒を飮まれて其の代を貰はずにへーぜしいといふ御人柄は鐘大鼓で搜した所が廣い天下に一人もあるまじく況して韓國まで渡り來つて飮食店を營むほどの者にそんな人好の居るべき筈はないに是れを知るや知らずや本町三丁目の伊藤組の人力車挽子新納嘉助(三十)といへるは昨日午後零時半に南大門通三丁目の飲食店渡邊キヨ方に到り橫柄を極め込んで酒肴を出させ僅かに五十五錢ばかりの散財を爲しさて御勘定を迫られて實は懷中は無一物唯我獨尊何をと阿呆如來を吐かすと威し文句で飲逃げの狂言を演ぜんとせしもソーは問屋が安くは卸さず己れの如き店荒しは後日の懲らしめにこの儘では濟さぬと警察署へ突き出され警吏より散々に油を取られ這々の体にて引き退り親方より五十五錢を前借して渡邊方へ支拂ひ詫をして事濟みとなり現金主義は己等仲間ばかりではないわいと今更らのやうに大に覺つたらしいとのことなり

●漢江の溺死　果川郡下北面上加次里居役夫李順巨(二十)は二月二十八日午後八時頃龍山より歸途漢江氷上を徒涉中結氷破壞して水中に陷落溺死したり洞民は直に死体搜索に向ひたるも遂に死体を發見せず

●啓蟄　本日午前八時十四分

●富の朝鮮(第二年第一卷)　向島氏の經營になる富の朝鮮は其二年第二卷を二月二十九日發行せり口繪として水原釜山等の風景及び京釜實業家の肖像を揭げ社說、實業、叢報、地方記事、資料、社會、雜錄、法令、人物管見などの欄を設け內容全般に亘りて整頓せられ就中向島氏の韓國啓發の第一捷徑と題する社說の如き大に讀むべき論文なり更に朝鮮實業に從事する者の好指南なりと云ふべし(發行所大和町二丁目同社定價二十錢)

廣告

一鐵道貨物取扱
一稅關保稅貨物取扱
迅速に確實叮嚀を主とし御取扱可申候間多少に不拘御用命奉願候
仁川停車場上　小宮山通關運送店
京城南大門外御成町五十番戶(千葉館前)　同支店　取次き(電話一二九番)

名著　產婆案內　いろは順
內務省免許　京城明治町一丁目　伊集院兼子(電話架設中)
內務省免許　京城旭町三丁目　伊藤智滿子
內務省免許　京城明治町一丁目　妊婦產婦マッサージを要す　岩永滋野
內務省免許　京城壽町三丁目二十六番地　濱崎辰子
內務省免許　京城本町五丁目(釘本商店橫入)　堀越直子
明治二十五年開業　內務省免許　田淵左姬　京城本町六丁目
內務省免許　京城本町四丁目三十番地　京都帝國大學病院產科婦人科勤務を辭し肩書の處へ開業致し候　土山峰子
內務省免許　京城旭町通一丁目五十五番戶(民役所の西側)　山鳥ウタ
官許　胞衣取扱所　內務省免許　京城明治町三丁目一番地　三池鶴代
明治二十四年開業　杉原花子　京城南山町三丁目(日本人俱樂部上)

綿絲第一回景品券發行廣告
三月一日以降日本各港ヨリ積出シタル二十番手及其以下ノ綿糸ニ對シ每梱(大俵)ニ付キ景品券一本ヲ附贈ス
景品ハ左ノ七等ニ區別シ本年七月上海ニ於テ抽籤ヲ行ヒ同地ニ於テ景品券引換ニ之ヲ交付ス
但シ五等以下ノ景品ハ在天津、香港、牛莊、芝罘、青島、漢口、釜山、仁川、平壤本會代理店ニ於テモ之ヲ取扱フ
第一等　日本綿糸十六手八十梱(此價格墨銀壹萬弗)壹本
第二等　每本同　同　同　二十四梱(同　三千弗)二本
第三等　同　同　同　四梱(同　五百弗)十本
第四等　同　同　同　一梱(同　百廿五弗)三十本
第五等　同　同　同　半梱(同　六十二弗五十仙)百本
第六等　同　同　同　四玉(同　十弗)千九百本
其他總テ七等トシ美術繪葉書一組ヲ呈ス
三月一日以前ニ日本ヨリ輸出セルモノト雖モ未ダ輸入港ニ滯停セルモノニ對シテハ其申出ニヨリ特ニ景品券ヲ贈呈ス
但シ詳細ノ手續ハ本會代理店ニ就キ御問合セ可下被候
明治四十一年三月
清國上海福州路第五號　大日本紡績聯合會出張所
韓國代理店　仁川港本町　三井物產合名會社

開業御披露
龍山桃山遊廓　日曜樓　(電話三十七番)
東京　大阪　西京　橫濱　神戶　長崎　函館　新潟　靜岡　名古屋
藝妓　日吉　桃丸
仲居　すゑ　ふみ　たか　はつ

營業科目
土地家屋鑛山山林賣買貸借ノ仲介
土地家屋鑛山山林測量製圖應依頼
灌漑排水事業設計應依頼
土地整理並丈量應依頼
鑛山未墾地出願代辨
土地家屋賣買證明願手續代辨
外國旅券出願代辨
新聞廣告取次
電話賣買取次
韓國に關する圖書雜誌閱覽
韓國に關する非賣出版書閱覽
韓國に關する本社調査書類閱覽
商品依託持約代理店ノ仲介

▲弊社は誠實秘密且敏速に業務を營む
●宅地及韓人家屋の賣物あり
●商店向其他の貸家あり
●鑛山の賣物あり
●耕地未耕地の賣物あり
▲弊社は各方面に涉り各事項を調査す
本社　京城永樂町一丁目八番戶假事務所
京城仲介社
支社
東京　麴町區富士見町　伊藤豐次郎
大阪　尼ケ崎字宮町　由比昌太郎
仁川　新町一丁目　遠藤嘉平
釜山　入江町一丁目　加納佐一
木浦　山手通三丁目　谷垣嘉市
鎭南浦　西二丁目　古田稻甫
開城　西部　今福又三
水原　南門內　川口直三郎
元山　居留地　菅鶴平
鏡城　北門內　菅野支店
平壤　大和町　佐久間賢次郎
大邱　東門外　稻本新作
龍山　元町　吉岡一臣

祝支店開設一週年大賣出し

來る二十四日より向十日間

景品總額參百圓

●ボックスカーフ長靴 三足 價格九十圓
●同 深ゴム靴 五足 價格四十圓
●同 編上靴 五足 價格四十圓
●キット 編上靴 五足 價格五十圓
●同 深ゴム靴 五足 價格五十圓
●其他以下略す

正札より一割引

景品券一圓毎に一葉進呈す

京城本町六丁目 富田支店

株式會社 第一銀行京城支店

本店 東京市日本橋區兜町
內地支店及出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店及出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、馬山、平壤、大邱、開城、城津、咸興、鏡城
淸國出張所 安東縣

電話番號 營業部 一一番 同當直用 一二番 營業部 三三二番 國庫部 六一一番 用度係 六一二番 分拆所 六二二番

總支配人 市原盛宏
副支配人 國庫部長 三島太郎
副支配人 調査部長 竹山純平
副支配人 營業部長 木村雄次

各種材木、竹類、煉瓦

座敷廻り諸材料特に注意取揃あり

右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候

(卜) 小森材木部

京城旭町一丁目 電話七四四番 本宅四〇五番

株式會社 十八銀行 京城支店

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店出張所 韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

諸官衙御用品調達
各學校用品調達

營業科目
紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐ペンキ
穀物食鹽
織物染料

幷に委託販賣

東京 合資會社アライアンス商會代理店
橫濱 百七十六番 ビユームエンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話三二〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二番

龍山 青木醫院 (電話一〇四番)

一般衛生試驗ノ依賴ニ應ス

院長 醫師 青木淸六
副院長 醫學得業士 原志磨治
藥局長 藥劑師 [redacted]山貞雄
京城分院 日韓病院 主任醫師 百合野福松
永登浦分院 主任 松村勝熊

病室增築中

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應し可申候

當社一手販賣炭左之通り

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物産合名會社
京城出張所(電話二十六番)
仁川出張所(電話六十三番)

最新建築材料品種々

ラバロイド
金屬打出 モナーク瓦
アスハルト並に工事
リサイト 一名防火ペンキ
アスフハルトフエルト
穴原木材防腐劑
米國製 壁紙◎石綿瓦
建築用紙◎エナメル

本店 東京京橋區五郎兵衛町(特電本局九四三)
支店 大阪西區靱中通一丁目(特電西八九四)
同 橫須賀市大瀧町(電話一一一)
同 大連市伊勢町十一號地
同 韓國京城大和町一丁目
出張所 米國紐育フロントン街九六

合資會社 亢原商會

韓國京城 株式會社 大韓天一銀行 電話五五八番

株式會社 第五十八銀行京城支店 (電話五八番)

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金 三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山、仁川、平壤、鎭南浦、安東縣

爲替取組先

畿內	二十七ヶ所
東山道	十三ヶ所
山陽道	七十五ヶ所
南海道	二十三ヶ所
北海道	五ヶ所
臺灣	二ヶ所
東海道	二十八ヶ所
北陸道	十ヶ所
山陰道	十三ヶ所
西海道	三十ヶ所
韓國	九ヶ所
淸國	一ヶ所

新聞雜誌通信一般の御依賴に應す

京城曙町一丁目 韓國通信社

熊平製造金庫
東京 竹內製金庫
大阪二重瓶並ニ回轉式 消火器

韓國販賣部 京城本町一丁目 熊平商店 電話六二四番

齒科診療

漢城病院を辭して開業す 飯塚徹

前東京醫科大學勤務 統監府囑托 東京共立齒科醫學校講師たりし

仁川分診所主任として 藤井庄次郎 氏を聘す

京城診療所 南山町三丁目第一銀行橫五軒目
仁川分診所 仁川病院前の角 毎五、十日出張

診療時間 午前八時より午後四時迄 夜間七時より八時迄 毎五、十日京城新來休診

高等下宿 日の出館

京城明治町一丁目(漢城病院向筋入)

弊館は設備完全にして最も閑靜なり
弊館は叮嚀懇切を以て特色とす

會席御料理 並に仕出し 御好に應ず

京城西小門通り(京城新報橫入る) 日の出

▲貨物本船積卸
▲龍山行運送
右の外其他近海艀に關する一般の事務

仁川港仲町一丁目 福島組(電話五三五番)
同 波戶塲出張所(電話五四二番)

梅毒痳病 內科 外科

京城南大門外 入院隨意 戶田病院

日本漬 澤庵大賣出し
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店(電話二五一番)

銘茶販賣專業

京城本町五丁目 富士の里茶舖

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 三月十五日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 三月七日 後三時出 / 釧路丸 三月七日 後三時出
●大連、大沽行 高砂丸 三月五日 後一時出 / 山東丸 三月五日 後四時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 三月十九日 後一時出
‖鎭南浦行 第一オハヨ號三 三月四日 後三時出
●釜山出帆、元山行 弘前丸 三月十一日

注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事